

## 令和4年度日本NP学会総会

日 時 令和4年11月12日(土) 13:30~13:50

場 所 第8回日本NP学会学術集会

### — 次 第 —

#### 1. 理事長挨拶

#### 2. 議 事 (議長 福永理事長)

(1) 令和3年度日本NP学会事業報告及び決算について (資料1)

(2) 地方会構想および会費変更に伴う会則など変更案 (資料2、3)

#### 3. 報 告

(1) ブロック活動について (資料4)

(2) 2023年度第9回日本NP学会学術集会について (資料5)

(3) 学術協力団体申請への協力 (資料6)

(4) 研究助成金について (資料7)

資料1 : 令和3年度日本NP学会事業報告、会計報告、監査報告書

資料2 : 地方会構想

資料3 : 会則変更など案他

資料4 : ブロック活動

資料5 : 第9回日本NP学会学術集会について

資料6 : 学術協力団体申請への協力

資料7 : 研究助成金について

## 【報告事項】

## 2021（令和3）年度日本NP学会事業報告

## 1. 役員及び会員の状況

理事長	1名
副理事長	2名
理事	17名
監事	3名
会員	688名（令和3年3月31日現在）

会員種別/年度末	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	増減
正会員（個人）	178人	231人	329人	352人	443人	520人	635人	115人
学生会員（個人）	31人	41人	56人	19人	46人	44人	51人	7人
賛助会員（個人）	—	1人	1人	1人	1人	1人	1人	0人
賛助会員（団体）	1団体	1団体	0団体	0団体	0団体		1団体	1団体
名誉会員	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	209人	273人	386人	372人	490人	565人	688人	122人
	1団体	1団体					1団体	1団体

## 2. 会議等

## (1) 第1回日本NP学会理事会

開催日：2021年5月26（水）18:00～19:30

形式：Webによる開催（Zoom）

議題：

- 1) 令和2年度事業報告について
- 2) 令和2年度決算報告について
- 3) 令和3年度事業計画案について
- 4) 令和3年度予算案について
- 5) 日本看護系学会協議会の加盟について
- 6) 日本NP学会広報活動におけるFacebookの活用マニュアルについて
- 7) 研究協力体制について

## (2) 第2回日本NP学会理事会

開催日：2021年11月10日（水）17:00～18:30

場所：日本NP学会事務室

形式：Webによる開催（Zoom）

議題：

- 1) 前回理事会議事録案について
- 2) 次期理事及び監事候補者について

## 【資料1】

- 3) 次期理事長・副理事長・指名理事について
- 4) 編集理事の補充について
- 5) 学術集会の準備状況について
- 6) ブロック活動について
- 7) 定期総会次第の確認について
- 8) 会員システムの進捗状況について
- 9) 日本NP学会 広報HPリニューアルに関する要望書
- 10) 電子印鑑の使用について
- 11) ブロック活動における研究会およびその公印使用について
- 12) 学会カードについて

### (3) メール審議（理事会）

○2021年7月9日（木）～13日（月）

議 題：第7回日本NP学会学術集会のWEBによる開催について

○2021年9月10日（金）～15日（水）

議 題：日本看護協会より日本NP学会を通じた情報収集について

○2022年2月9日（水）～25日（金）

議 題：メール審議\_理事の退任・新理事の選任について

### (4) 日本NP学会総会

開催日：2021年11月20日（土）13:40～14:00

形 式：Webによる開催（Zoom）

議 題：

〔決議事項〕

第1号議案：令和2年度日本NP学会事業報告及び決算等について

第2号議案：次期理事及び監事の選出について

〔報告事項〕

- 1) ブロック活動について
- 2) 第8回日本NP学会学術集会について
- 3) 診療看護師（NP）の調査研究の協力について
- 4) 日本NP教育大学院協議会NP資格認定証（カード型）の発行について

## 3. 学術集会の開催

### (1) 第7回学術集会

大会長：本田和也（国立病院機構 長崎医療センター 診療看護師（NP））

副大会長：和泉 泰衛（国立病院機構 長崎医療センター 総合診療科医長）

伊藤 健大（国立病院機構 長崎医療センター 診療看護師（NP））

## 【資料1】

会 期：2021年11月19日(金)～21日(日)

WEB 配信 11月19日(金)～12月12日(日)

会 場：長崎大学医学部(長崎県長崎市坂本1-12-4)

長崎県美術館(長崎県長崎市出島町2-1)

テーマ：「Collaboration.-診療看護師(NP)の真価を問い、新たな価値を創造する-」

参加者数：1021名

### (2) 第8回学術集会

大会長：酒井博崇(藤田医科大学)

副大会長：永谷ますみ(藤田医科大学)

廣末美幸(藤田医科大学)

会 期：2022年11月11日(金)～13日(日)

会 場：藤田医科大学

テーマ：「Diversity & Specialty 診療看護師(NP)の多様性と専門性」

### (4) 第9回学術集会

大会長：樋口秋緒(医療法人北晨会恵み野訪問看護ステーション「はあと」)

会 期：2023年10月20日(金)～22日(日)

会 場：北海道医療大学

テーマ：Healthcare Crisis セーフティネットとしての高度実践看護

## 4. 「日本 NP 学会誌」の発刊

### (1) 会誌発行

日本 NP 学会誌 5 巻 1 号・2 号・supplement 号(抄録)

発行月 2021 年 5 月、11 月

## 5. 広報活動

(1) 学術集会の広報・後方支援

(2) 広報戦略の検討(定期会議)

(3) ホームページの編集(日本 NP 学会誌の広報、含む)

## 6. ブロック活動

### (1) 北海道・東北ブロック

#### ①北海道 NP 研究会第7回研修会

日 程：2020年9月12日(土) Web 開催

テーマ：「COVID-19 座談会」

#### ②第16回東北 NP 勉強会

日 程：2020年12月12日(土) Web 開催

テーマ：「東北 NP の現在知～地域医療の架け橋～」

#### ③北海道 NP 研究会第8回研修会

日 程：2021年1月23日(土) Web 開催

テーマ：「サルコペニア・フレイル評価委～在宅予防の観点から

## 【資料1】

～喜茂別町とサルコペニア・フレイルのプロジェクト実践から～

- ⑤ 第5回東北NP研究会学術集会・総会  
日程：2021年10月9日（土）10日（日）Web開催  
テーマ：「NP向き合う感染症診療—ポストコロナへつなげる—」
- ⑥ 北海道NP研究会第10回研究会  
日程：2022年1月22日（土）Web開催  
テーマ：「NPの役割発揮～コラボレーション能力のレベルアップ～」

### （2）関東ブロック

- ① 第4回関東ブロック診療看護師研究会総会  
日 程：2021年8月28日  
場 所：東京医療保健大学東が丘キャンパス  
形 式：webまたはハイブリット開催（予定）  
テーマ：ACPにおける診療看護師の可能性  
教育講演、シンポジウムを計画中
- ② 埼玉県：埼玉ブロックNP集会を上半期・下半期に1回ずつ計2回実施予定
- ③ 群馬県：web会議1-2回／年実施予定  
活動報告と現状の困難な問題点等の共有と、JEDCOMの修了生の活動を共有予定
- ④ 茨城県：茨城県立中央病院より各1名追加、交流会は開催予定
- ⑤ 神奈川県：川崎市NP連絡会（月1回）

### （3）中部・関西ブロック

- ① 第4回櫻下会NP研究会  
日 時：2021年6月12日（土）  
形 式：web開催  
大会長：後小路 隆（社会医療法人 陽明会 小波瀬病院 診療看護師）
- ② 日本NP学会中部関西診療看護師(NP)研究会 第5回学術集会・総会  
日 時：2021年8月7日（土）  
形 式：web開催  
テーマ：診療看護師(NP)が実践する看護  
大会長：布目 雅博（名鉄病院 診療看護師）  
副大会長：谷本 恒仁（金沢医療センター 診療看護師）
- ③ 信州診療看護師（NP）研究会企画研修会  
日 時：2021年9月16日  
テーマ：日本における10年を越える診療看護師の現在と今後の展望  
参 加：講師希望により、信州診療看護師研究会員限定

### （4）中国・四国・九州・沖縄ブロック

- ① 中国・四国ブロック  
年3回（小規模2回、研究会1回）の研修を立案、確定
- ② 九州・沖縄ブロック  
・第7回日本NP学会学術集会 in Nagasaki

## 【資料1】

開催日 ; 2021年11月19日～21日

会 場 : 長崎大学医学部 長崎県美術館

- ・おおいたNP学会
- 勉強会・交流会、年4回居以上開催予定

### 7. 関連団体との連携

- ・日本NP教育大学院協議会
- ・日本看護系学会協議会
- ・日本学術会議

### 8. その他

- ・日本看護系学会協議会加盟申請をした。
- ・日本学術会議協力学術研究団体指定申請を開始した。
- ・会員マイページ（本人登録情報の確認、更新等）導入を決定した。
- ・研究協力体制について検討した

日本NP学会  
2021(令和3)年度収支報告書  
(2021年4月1日～2022年3月31日)

## 1. 収入の部

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
会費収入				
正会員会費	<u>2,700,000</u>	<u>2,922,500</u>	<u>222,500</u>	
当年度	2,600,000	2,584,500	△ 15,500	
過年度	100,000	338,000	238,000	
学生会員会費	<u>165,000</u>	<u>141,000</u>	<u>△ 24,000</u>	
当年度	150,000	123,000	△ 27,000	
過年度	15,000	18,000	3,000	
賛助会員会費	<u>0</u>	<u>100,000</u>	<u>100,000</u>	
当年度	0	100,000	100,000	
過年度	0	0	0	
寄付金	0	3,865,873	3,865,873	第7回学術集会
学術集会準備金戻入	300,000	300,000	0	第7回学術集会
積立金取崩収入	500,000	0	△ 500,000	会員システム未導入のため
雑収入	200	2,798	2,598	受取利子、学会誌修正費用
当期収入合計	3,665,200	7,332,171	3,666,971	

## 2. 支出の部

科 目	予算額	決算額	差異	備 考
事業費	<u>1,580,000</u>	<u>957,830</u>	<u>△ 422,170</u>	
学術集会準備金	300,000	300,000	0	第8回学術集会
会誌発行費	650,000	561,900	△ 88,100	第5巻
ブロック活動貸付金	200,000	0	△ 200,000	
HP制作・管理費	150,000	15,930	△ 134,070	ドメイン・サーバ代他
学術活動推進費	200,000	0	△ 200,000	
関連団体分担金	80,000	80,000	0	JANA会費
管理費	<u>1,986,000</u>	<u>949,950</u>	<u>△ 1,036,050</u>	
会議費	60,000	11,000	△ 49,000	zoom利用料
旅費交通費	150,000	0	△ 150,000	
印刷製本費	50,000	8,547	△ 41,453	事務局コピー代
郵送料	60,000	64,006	4,006	事務局郵便代
広報費	50,000	0	△ 50,000	
消耗品費	10,000	0	△ 10,000	
事務委託費	850,000	864,969	14,969	毎日学術フォーラム
会員システム費	750,000	0	△ 750,000	
公租公課	1,000	0	△ 1,000	
雑費	5,000	1,428	△ 3,572	振込手数料
積立金	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	
予備費	<u>50,000</u>	<u>0</u>	<u>△ 50,000</u>	
当期支出合計	3,616,000	1,907,780	△ 1,708,220	
当期収支差額	49,200	5,424,391	5,375,191	
前期繰越金	7,002,735	7,002,735	0	
次期繰越金	7,051,935	12,427,126	5,375,191	

日本NP学会  
貸借対照表

(2022年 3月31日)  
(単位:円)

借 方		貸 方	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
流動資産		流動負債	
普通預金	10,079,991	前受会費・前受金	570,000
郵便振替	3,548,352	積立金	800,000
小口現金(編集)	121,230		
		次年度繰越金	12,427,126
		前年度繰越金	7,002,735
		当年度収支差額	5,424,391
合 計	13,749,573	合 計	13,797,126

財産目録

(2022年 3月31日)  
(単位:円)

資産の部

勘 定 科 目	摘 要	金 額
普通預金	ゆうちょ銀行(本部)	9,483,999
普通預金	ゆうちょ銀行(編集用)	33,545
普通預金	ゆうちょ銀行(大会用)	562,447
郵便振替	ゆうちょ銀行	3,548,352
小口現金	編集委員会	121,230
合 計		13,749,573

負債の部

勘 定 科 目	摘 要	金 額
前受会費	2022年度以降会費	260,000
前受金	第8回学術集会企業収入	310,000
積立金	会員システム導入用	500,000
積立金	第8回学術集会準備金	300,000
合 計		1,370,000

日本NP学会  
2021(令和3)年度収支予算書(案)  
(2021年4月1日～2022年3月31日)

## 1. 収入の部

(単位:円)

科 目	予算案	前年度予算額	差異	備 考
会費収入				
正会員会費	2,700,000	2,200,000	500,000	
当年度	2,600,000	2,000,000	600,000	520名×5000円
過年度	100,000	200,000	△ 100,000	
学生会員会費	165,000	192,000	△ 27,000	
当年度	150,000	180,000	△ 30,000	50名×3000円
過年度	15,000	12,000	3,000	
賛助会員会費	0	0	0	
当年度	0	0	0	
過年度	0	0	0	
寄付金	0	0	0	
学術集会準備金戻入	300,000	300,000	0	第7回学術集会
積立金取崩収入	500,000	0		会員システム導入
雑収入	200	200	0	
当期収入合計	3,665,200	2,692,200	△ 973,000	

## 2. 支出の部

科 目	予算案	前年度予算額	差異	備 考
事業費	1,580,000	1,325,000	255,000	
学術集会準備金	300,000	300,000	0	第7回学術集会
会誌発行費	650,000	675,000	△ 25,000	第5巻
ブロック活動貸付金	200,000	200,000	0	
HP制作・管理費	150,000	150,000	0	ドメイン・サーバ代他
学術活動推進費	200,000	0	200,000	
関連団体分担金	80,000	0	80,000	日本看護系学会協議会
管理費	1,986,000	1,076,000	910,000	
会議費	60,000	60,000	0	
旅費交通費	150,000	50,000	100,000	
印刷製本費	50,000	50,000	0	
郵送料	60,000	50,000	10,000	
広報費	50,000	50,000	0	
消耗品費	10,000	10,000	0	
事務委託費	850,000	800,000	50,000	毎日学術フォーラム
会員システム費	750,000	0	750,000	東京コンピュータシステム
公租公課	1,000	1,000	0	
雑費	5,000	5,000	0	支払手数料他
積立金	0	500,000	△ 500,000	
予備費	50,000	50,000	0	
当期支出合計	3,616,000	2,951,000	665,000	
当期収支差額	49,200	△ 258,800	308,000	
前期繰越金	7,002,735	5,713,169	1,289,566	
次期繰越金	7,051,935	5,454,369	1,597,566	

## 監 査 報 告 書

日本 NP 学会  
理事長 福永 ヒトミ 殿

私は、日本 NP 学会会則（以下「会則」という。）の規定にもとづき、令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの令和 3 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

### 1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の突合せや閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の記載事項を調査検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて理事の業務執行の状況を調査検討した。

### 2. 監査意見

- (1) 事業報告および会計報告とその附属明細書は、会則に従い、当学会の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の執行に関し、不正の行為または会則に違反する重大な事実はありません。

令和 4 年 9 月 2 日

日本 NP 学会

監事

田中 留平



## 監 査 報 告 書

日本 NP 学会  
理事長 福永 ヒトミ 殿

私は、日本 NP 学会会則（以下「会則」という。）の規定にもとづき、令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの令和 3 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

### 1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の突合せや閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の記載事項を調査検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて理事の業務執行の状況を調査検討した。

### 2. 監査意見

- (1) 事業報告および会計報告とその付属明細書は、会則に従い、当学会の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の執行に関し、不正の行為または会則に違反する重大な事実はありません。

令和 4 年 9 月 2 日

日本 NP 学会

監事 木子嶋 孝一 

## 監 査 報 告 書

日本 NP 学会  
理事長 福永 ヒトミ 殿

私は、日本 NP 学会会則（以下「会則」という。）の規定にもとづき、令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日までの令和 3 年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

### 1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査については、帳簿並びに関係書類の突合せや閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の記載事項を調査検討した。
- (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事からの業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて理事の業務執行の状況を調査検討した。

### 2. 監査意見

- (1) 事業報告および会計報告とその付属明細書は、会則に従い、当学会の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の執行に関し、不正の行為または会則に違反する重大な事実はありません。

令和 4 年 8 月 30 日

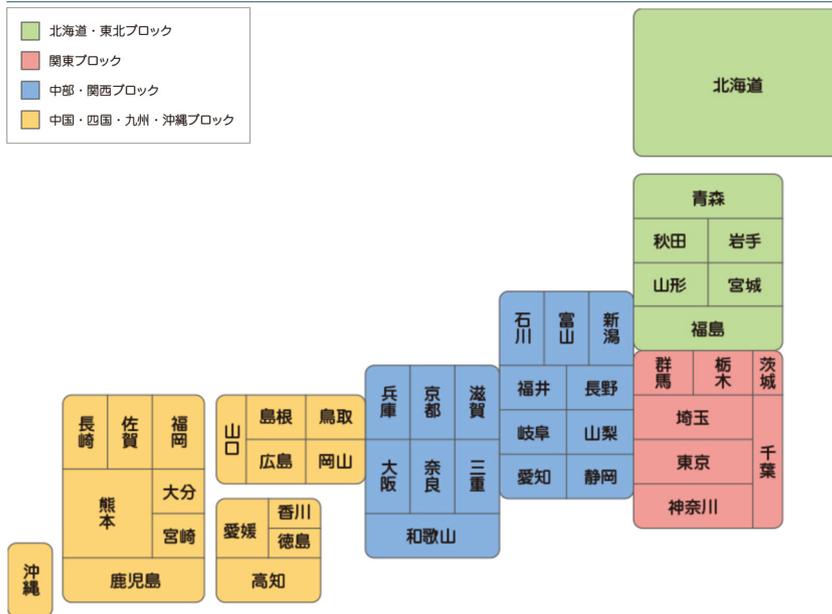
日本 NP 学会

監事

渡邊 孝



## エリア分布図



# 日本NP学会 ブロック内研究会一覧

### 北海道・東北ブロック 公印：有

研究会名	公印の有無	会長	約款の有無
北海道N P研究会	有	樋口秋緒	有
東北NP研究会	有	長谷部亮	有

### 関東ブロック 公印：有

研究会名	公印の有無	会長	約款の有無
関東ブロック診療看護師(NP)研究会	無	忠雅之	有
埼玉NP研究会	無	荻野康崇	有

### 中部・関西ブロック 公印：無

研究会名	公印の有無	会長	約款の有無
中部関西診療看護師(NP)研究会	有	酒井博崇	有
信州診療看護師(NP)研究会	有	萩原和章	有
櫻下会NP研究会	有	伏見直記	有

### 中国・四国・九州・沖縄ブロック 公印：無

研究会名	公印の有無	会長	約款の有無
中国・四国ブロック診療看護師 (NP) 研究会	有	横山淳美	有
九州診療看護師 (NP) 研究会	有	伊藤健大	有

2022年1月調査時点

# 日本NP学会 ブロック内研究会一覧

## 日本NP学会地方会構想 (案)

北海道・東北ブロック 公印：有				
研究会名	公印の有無	会長	約款の有無	
北海道NP研究会 ●	有	樋口秋緒	有	北海道地方会
東北NP研究会 ●	有	長谷部亮	有	
関東ブロック 公印：有				
研究会名	公印の有無	会長	約款の有無	
関東ブロック診療看護師(NP)研究会 ●	無	忠雅之	有	関東地方会
埼玉NP研究会	無	荻野康崇	有	
中部・関西ブロック 公印：無				
研究会名	公印の有無	会長	約款の有無	
中部関西診療看護師(NP)研究会 ●	有	酒井博崇	有	中部地方会
信州診療看護師(NP)研究会	有	萩原和章	有	
櫻下会NP研究会	有	伏見直記	有	
				関西地方会
中国・四国・九州・沖縄ブロック 公印：無				
研究会名	公印の有無	会長	約款の有無	
中国・四国ブロック診療看護師(NP)研究会 ●	有	横山淳美	有	中国・四国地方会
九州診療看護師(NP)研究会 ●	有	伊藤健大	有	

日本NP学会地方会	県 (会員数)	地方会長 (案)
北海道地方会	北海道 (37)	樋口秋緒
東北地方会	青森 (3) ・ 岩手 (2) ・ 宮城 (49) 秋田 (12) ・ 山形 (10) ・ 福島 (2)	石川ちさと
関東地方会	茨城 (6) ・ 栃木 (9) ・ 群馬 (8) 埼玉 (34) ・ 千葉 (45) ・ 東京 (134) 神奈川 (89)	忠雅之
中部地方会	新潟 (1) ・ 富山 (1) ・ 石川 (2) 福井 (1) ・ 山梨 (0) ・ 長野 (21) 静岡 (10) ・ 岐阜 (4) ・ 愛知 (86)	酒井博崇
関西地方会	滋賀 (2) ・ 三重 (0) ・ 京都 (6) 大阪 (24) ・ 奈良 (1) ・ 和歌山 (0) 兵庫 (15)	山口壽美枝
中国・四国地方会	鳥取 (0) ・ 島根 (14) ・ 岡山 (5) 広島 (5) ・ 山口 (4) ・ 徳島 (1) 香川 (2) ・ 愛媛 (0) ・ 高知 (0)	横山淳美
九州地方会	福岡 (18) ・ 佐賀 (5) ・ 長崎 (18) 熊本 (4) ・ 大分 (47) ・ 宮崎 (2) 鹿児島 (8) ・ 沖縄 (4)	伊藤健大

### 学術活動推進委員会 (案)

委員長：塚本容子

委員：今井崇 渡邊隆夫 猪野智佳 本間由希 伏見直記 甲斐博美

## 地方会構想（案）に伴う変更点

1. 地方会 会員は、日本 NP 学会 会員と一元化する
  - 地方会だけの会員はなし
  - 他の地方会に参加費なしで参加が可能
2. 年会費は日本 NP 学会で一元化する
  - 年会費 5000 円から 10000 円に変更（2023 年度から開始）
  - 学生会員 3000 円のまま変更なし
3. 現在の各研究会の所持金は、各研究会に方針に一任する
  - 新たに地方会の通帳を作成
  - 印は地方会で統一する
  - 所持金は 2023 年度に使い切る方針で一致
  - 地方会の予算は、各年度、日本 NP 学会に予算申請をする
4. 地方会 会則を新たに作成し、日本 NP 学会で統一する
5. その他の研究会については、日本 NP 学会の後援を受ける場合以下の書類を提出する
  - 研究会の活動毎に後援申請を提出
  - 研究会活動後には報告書を提出
  - ただし協議会の更新ポイントとは関係はない
6. 日本 NP 学会学術集会について
  - 第 10 回（2024 年度）より大会長を地方会で担当する
  - 学術集会 準備金を 30 万円から 100 万円変更
  - 学術集会 予備費 100 万円を設置

## その他

2023 年度は移行期とし、

- 日本 NP 学会理事は第 3 期（2021 年 11 月～2024 年終結時）のままとする
- 2023 年度に地方会役員の編成を行う
- 現在決まっている企画はそのままでも良く、2024 年度より地方会ごとの企画を 2023 年度に計画していく

- 2023年度の資金は、現在の研究会の所持金を使用し、不足がある場合は日本 NP 学会に申請する

日本 NP 学会 会則 20 条

第 20 条

本学会の事業を推進するために必要があるときは、委員会、地方研究会を設置することができる。

2. 委員会、地方研究会に関する必要な事項は理事会において、別に定める。

変更案

第 20 条

本学会の事業を推進するために必要があるときは、委員会、地方研究会を設置することができる。

2. 委員会、地方研究会に関する必要な事項は理事会において、別に定める。

第 21 条

本学会の各地方研究活動を推進するために、地方会を設置する。

2. 地方会に関する必要な事項は理事会において、別に定める。

・ 理事長指名枠での 2 名の理事追加について

1) 令和 3 年 11 月の総会にて選任された塩月成彦氏が 2022 年 1 月 17 日に理事辞退を申し出たため、新たに理事長指名枠より横山淳美氏(島根県立大学)を中国・四国・九州・沖縄ブロック理事に指名し、理事会での承認が得られた。

2) 地方会構想に基づき、中国・四国ブロックの理事数が不足しているため、横山理事からの推薦された田山裕介氏(岡山済生会総合病院)を新たに理事長指名枠として中国・四国・九州・沖縄ブロック理事に指名し、理事会での承認が得られた。

その他規定関係変更箇所

- ・日本 NP 学会会則実施細則（理事会決議により承認）

第2条 本会の会費 一、 正会員（個人） 10,000 円/年

- ・日本 NP 学会ブロック活動に関する規程

今後理事会で地方会に関する規定を作成

## ブロック活動報告

### (1) 北海道・東北ブロック (ブロック長: 石川 ちさと)

①北海道 NP 研究会 第 6 回総会・第 11 回研修会

日 程: 2022 年 4 月 23 日

形 式: web

テーマ: 活動報告

②第 19 回東北 NP 勉強会

日 程: 2022 年 5 月 28 日

形 式: web

テーマ: 診療報酬の基本、これまでの特定行為に関わる診療報酬と 2022 年 4 月～診療報酬改定について

### (2) 関東ブロック (ブロック長: 忠 雅之)

①第 5 回日本 NP 学会関東ブロック NP 研究会・総会

日 程: 2022 年 8 月 20 日 (土) Web 開催

テーマ: 「診療看護師のこれまで、これから、未来へ (仮)」

②埼玉県: 埼玉ブロック NP 集会を上半期・下半期に 1 回ずつ計 2 回実施予定

③群馬県: web 会議 1-2 回/年実施予定

活動報告と現状の困難な問題点等の共有と、JEDCOM の修了生の活動を共有予定

④茨城県: 交流会は開催予定

⑤神奈川県: 川崎市 NP 連絡会 (月 1 回)

⑥栃木県: 未定

⑦千葉県: 未定

### (3) 中部・関西ブロック (ブロック長: 酒井 博崇)

① 第 5 回櫻下会 NP 研究会

日 時: 2022 年 6 月 4 日(土)

テーマ: フロンティア 広がりつつある NP の需要 新たなステージ

形 式: web 開催

大会長: 小中野 和也 (医療法人名古屋澄心会 名古屋ハートセンター)

② 日本 NP 学会中部関西診療看護師(NP)研究会 第 6 回学術集会・総会

日 時: 2022 年 8 月 6 日(土)

形 式: web 開催

テーマ: 今、ここに集結! 診療看護師 (NP) の実践力

大会長: 村上 涼子 (京都医療センター 診療看護師)

副大会長: 向井 拓也 (愛仁会高槻病院 診療看護師)

③ 信州診療看護師（NP）研究会企画研修会

日 時：2022 年 8 月と 2023 年 2 月

テーマ：未定（HP に随時更新する）

(4) 中国・四国・九州・沖縄ブロック（ブロック長：伊藤 健大）

1. 中国・四国ブロック

年 3 回（小規模 2 回、研究会 1 回）の研修を立案、確定

2. 九州・沖縄ブロック

・おおいた NP 学会

勉強会・交流会、年 4 回居以上開催予定

8. その他

- ・日本学術会議協力学術研究団体指定申請を完了（NP 資格者の論文情報収集）。
- ・会員ウェブシステム、会員マイページ（本人登録情報の確認、更新等）導入。

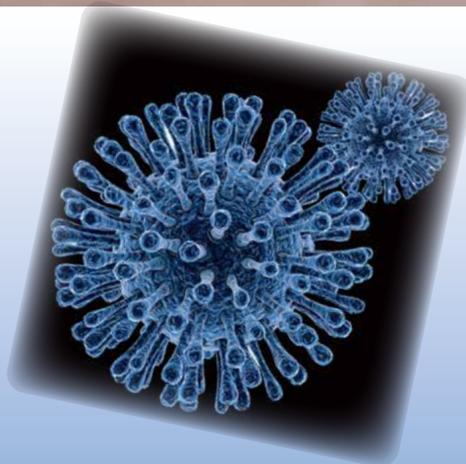
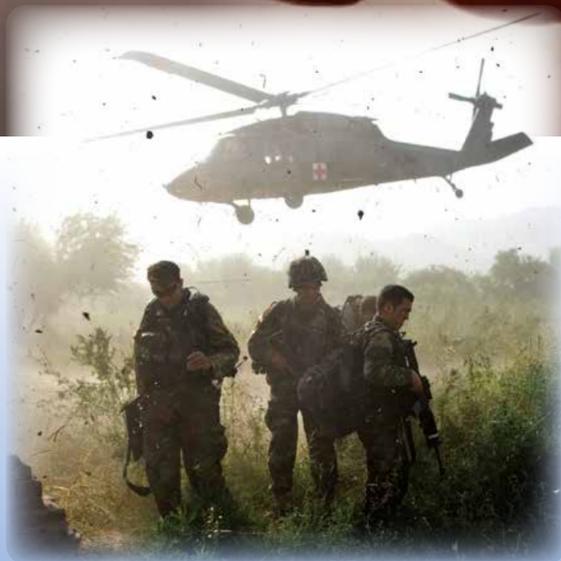


# 第9回 日本NP学会学術集会

Annual Meeting of Japan Society of Nurse Practitioner

# Healthcare Crisis

## セーフティーネットとしての高度実践看護



会期

2023年

10月20日 FRI

▶ 22日 SUN

会場

北海道医療大学

当別キャンパス

北海道石狩郡当別町金沢1757

JR北海道医療大学駅直結

会長

樋口 秋緒

社会医療法人 北農会

恵み野訪問看護ステーション「はあと」



- 主催 日本NP学会
- 後援 日本NP教育大学院協議会
- 運営事務局 北海道医療大学看護福祉学部



お問い合わせ  
<https://forms.gle/Z8VjioCaEGDHXdXy9>

---

# 第 9 回日本NP 学会学術集会

---

## 開催要項

開催日 : 2023 年 10 月 20 日 (金) ~ 10 月 22 日 (日)

オンデマンド配信期間 : 2023 年 11 月 6 日 (月) ~ 11 月 20 日 (月)

会 場 : 北海道医療大学

会 長 : 樋口 秋緒

(社会医療法人 北農会恵み野訪問看護ステーション「はあと」診療看護師)

第 1 版 2022 年 10 月 1 日 作成

## 開催のご挨拶

謹啓

平素より日本NP学会の活動につきまして多大なご支援を賜り、心より感謝申し上げます。この度、日本NP学会学術集会も第 9 回目となり、初の北海道での開催となりました。2015 年の第 1 回では「診療看護師は社会を変える」というテーマで開催され、そこから 8 年が経過。診療看護師(NP)を取り巻く社会も大きく変化していることを実感しております。

そこで、第 9 回のテーマは“Healthcare Crisis” ～セーフティネットとしての高度実践看護～と、いたしました。

現在、私たちの暮らしの中では、当然とんでいた安全な暮らしや健康が脅かされる時事が次々と出てきており、それを目の当たりにしています。

国々の紛争、パンデミック感染症、自然災害などによって多くの人が大切な人を亡くし、心とからだの健康を損なう経験をしました。

更にこれらがもたらした経済の混乱、人のつながりの分断、社会格差、このような変化がヘルスケア全体の揺らぎに直結しています。

今こそ社会全体に対して安全・安心を提供するための、新たな時代に合った強固なセーフティネットが求められており、高度実践看護師である診療看護師(NP)の日々の活動において、何ができるのか、考えることが必要なのではないかと思えます。

医療過疎地でも社会的マイノリティな方々に対しても、必要な時、必要な場所で分け隔てなく、安全な医療、ケアが受けられるよう、安心の療養生活ができるよう保証すること。

そして、チーム医療の一員として地域のヘルスケアに貢献すること。

そんな役割が、今まさに診療看護師(NP)に求められ、実践していく必要があるのではないかと考えます。

雪深く広大な北海道では、高度な医療を受けられる環境自体が整っていない地域が未だ多くあります。医療資源、医療へ向かう交通手段さえ限られてしまうこの地、北海道での開催だからこそ良い機会と思いこのテーマにしました。

第 9 回は現地開催とし、コロナ禍での安全な運営を行い、誰もが安心して参加できる環境の提供をするとともに、同じ志を持つ人々がそれぞれ立場で学術的な交流を通じて情報交換を行い、刺激しあい、励まし合い、明日への活力を得る場の提供に努めたいと思っています。

また、この第 9 回のテーマに沿い、セーフティネットを意識した社会のニーズに適応した診療看護師(NP)活動の在り方を探求し、人々の健康促進と QOL 向上に貢献する NP 活動の実際と課題を社会に示す場になることを期待しております。

謹白

2022 年 10 月吉日

第 9 回日本 NP 学会学術集会  
会長 樋口 秋緒  
(社会医療法人 北農会 恵み野訪問看護ステーション「はあと」診療看護師)

## 第 9 回日本 NP 学会学術集会 開催概要

- 学会名称  
第 9 回日本 NP 学会学術集会
- テーマ  
Healthcare Crisis ～セーフティネットとしての高度実践看護～
- 会期  
開催：2023 年 10 月 20 日（金）～10 月 22 日（日）  
オンデマンド配信期間：2023 年 11 月 6 日（月）～11 月 20 日（月）
- 会場  
2023 年 10 月 20 日（金）ハンズオンセミナー・理事会等会場  
北海道医療大学 札幌サテライトキャンパス  
〒060-0004 札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 アスティ 45)  
  
2023 年 10 月 21 日（土）・22 日（日）開会式・講演・企業展示等会場  
北海道医療大学（〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757）
- 会長  
樋口 秋緒  
（社会医療法人 北晨会 恵み野訪問看護ステーション「はあと」 診療看護師）
- 参加予定者数  
500 名程度  
対象：診療看護師（NP）・看護師特定行為研修修了者、医師・看護師・看護管理者・病院幹部・研究者・教育者・行政関係者・薬剤師・理学療法士・臨床工学技士等、診療看護師（NP）に関わる全ての方
- 開催形式・プログラム  
開催形式：現地開催（オンデマンド配信・発表資料閲覧）  
プログラム：特別講演・会長講演・教育講演・シンポジウム・一般演題  
ハンズオンセミナー、企業セミナー、ポスターセッション  
交流会・Web 企業プロモーション（展示・動画）・会議等
- 参加費（予定）

		① 早期参加登録 4 月 1 日～6 月 30 日	② 通常参加登録 7 月 1 日～9 月 30 日	③ ②以降の参加 10 月 1 日～11 月 20 日
現地参加 Web 参加	会員	8,000 円	9,000 円	10,000 円
	非会員	8,000 円	9,000 円	10,000 円
	学生	3,000 円	3,000 円	3,000 円

### 9. 事務局

#### 【学術集会事務局】

北海道医療大学 看護福祉学部棟 4F 石角研究室

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757

お問い合わせフォーム: <https://forms.gle/Z8VjioCaEGDHXdXy9>

担当者：石角鈴華、山田拓



## 10. 予算案

## 収入の部

収入項目	予算額 (円)	備考
学会参加費	3,750,000	参加費（事前申込制） 会 員※ : 8,000円 × 400名 = 3,200,000円 非会員※ : 8,000円 × 50名 = 400,000円 学 生 : 3,000円 × 50名 = 150,000円 (※：早期参加登録者で算出)
協賛金	2,790,000	企業展示 : 70,000円 × 20小間 = 1,400,000円 広告掲載 : 19 社 = 490,000円 HPバナー : 50,000円 × 8社 = 400,000円 企業セミナー : 5 社 = 500,000円
学術集会運営準備費	1,000,000	団体：日本NP学会 1,000,000円
合 計	7,540,000	

## 支出の部

支出項目	予算額 (円)	備考
1. 事前準備費	2,500,000	
広告費	1,100,000	HP製作・維持費 ポスターデザイン・印刷 プロモーションビデオ制作
事務費	600,000	事務処理費（業者委託） ミーティング維持管理経費 消耗品費（事務用品等） 交通費
抄録集製作費	800,000	データ管理・デザイン・校正・編集・印刷
2. 当日運営費	2,000,000	
会場設営費	800,000	会場費 会場付帯設備費、感染予防備品 撮影・映像機器
人件費	1,200,000	人件費 アトラクション依頼費用 弁当代
3. 交際費	400,000	記念品、受賞者トロフィー等
4. 講師招聘費	1,200,000	講演料、交通宿泊費
5. 通信費	300,000	
6. 税・手数料	80,000	所得税、振り込み手数料、印鑑作成等
7. 助成金返金	1,000,000	
8. 予備費	60,000	
合 計	7,540,000	

令和4年8月1日

日本NP学会会員 各位

日本NP学会  
理事長 福永 ヒトミ

日本学術会議協力学術研究団体申請に係る情報提供のご協力について

拝啓

盛夏の候、会員の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、日本NP学会では、日本看護系学会協議会への加盟に引き続き、日本学術会議協力学術研究団体申請の手続きを進めております。日本学術会議とは、科学が文化国家の基礎であるという確信の下、行政、産業及び国民生活に科学を反映、浸透させることを目的として、昭和24年、内閣総理大臣の所轄の下、政府から独立して職務を行う「特別の機関」として設立されています。また、協力学術研究団体とは、日本学術会議と各団体との間で緊密な連携・協力関係を持つことを目的として、平成17年に設けられています。

協力学術研究団体の要件には、学術研究の向上発達を主たる目的としてその達成のための学術研究活動を行っていること、学術研究（論文等）を掲載する機関誌を年1回継続して発行していることその他に、構成員（個人会員）における研究者の割合が半数以上であることが求められています。研究者とは、大学等の研究機関等において研究に従事する者以外に、当該研究分野について学術論文、学術図書、研究成果による特許等の研究業績を有する者が含まれます。

日本NP学会の会員の多くは、臨床で実践を行いながら研究活動を継続している診療看護師(NP)等であり、大学等の研究機関において研究に従事する会員の方は少ない状況です。よって、会員の皆様が研究者であることを証明するために、研究業績に関する情報提供のご協力をお願いいたたく存じます。収集した情報は、協力学術研究団体申請のみに使用するものであり、その他の用途には使用いたしません。

日本NP学会が学術団体として発展するための大きな一歩となる申請であり、ご協力の程、どうぞよろしく願いいたします。

敬具

# 日本学術会議協力学術研究団体申請に係る情報提供のご協力について

## 日本NP学会会員の皆様へ

日本学術会議協力学術研究団体申請のための情報提供入力はお済ですか？まだ未入力の方は入力をお願いします。

**対象：医療機関等で勤務する診療看護師(NP)等の全会員**

なぜ日本学術会議協力学術研究団体申請が必要なのか？

- 日本学術会議協力学術研究団体に加盟することが日本の学術団体として認められる。
- 学位等取得のためには，日本学術会議協力学術研究団体加盟学会の学会誌の投稿に限っている大学院が多い。

**医療機関等で勤務する診療看護師(NP)が研究者であることの証明が必要です。**

下記の情報提供フォームでの情報提供をお願いします。

学位

学術論文

学位論文

学術論文（学会誌等で査読がある筆頭または共著論文）

学術図書（商業雑誌以外の学術図書，単著または共著）

研究成果による特許

<https://survey.mynavi.jp/cre/?enq=kqEXfDd2HgU%3d>

**全診療看護師(NP)の方の入力の協力をお願いします**



## 2022年度日本NP学会 研究助成制度

日本NP学会では、学会員による研究活動の推進を図ります。その一つとして、研究活動を行う学会員のため、研究活動を活発に行えるよう、研究助成制度を設けます。この研究助成制度では、まだ不足していると考えられる、わが国からのNPに関する研究成果の発信を国際的に行えるように、英語論文化をゴールに設定しています。助成を受けられた方には進捗報告会で発表頂き、学術推進委員会メンバーからアドバイス等を受ける事が可能です。

### 募集要項

1. 募集期間、審査、助成スケジュール 2022年12月1日～2023年1月31日（消印有効）助成審査は書面（申請書類）で行います。学術推進委員会での審査を経て、助成が認められた方（チーム）には学会事務局より通知致します。
2. 個人研究の助成 助成の対象：当学会会員（当学会に3年以上在籍） 研究手法：量的研究および質的研究 研究助成期間：1年間 助成件数：年間1件まで 助成金額：1件当たり年間10万円 助成を受けた者には、2023年の学術集会時に開催する進捗報告会での発表および英語論文化をご誓約頂きます（誓約書にご署名頂きます）
3. チーム研究の助成 助成の対象：2名以上の研究者グループ（チーム） 研究代表者は、以下の様件を満たすものとします。・当学会に3年以上在籍し、現在も会員である 研究手法：量的研究、質的研究、混合型研究のいずれか選択。 研究助成期間：2年間 助成件数：年間2件まで 助成金額：1件当たり年間30万円 研究計画から助成額を判断します。 まだデータ収集が開始していない研究（既に始まっている研究は助成の対象外とする） 助成を受けたチームには、2023年、2024年の学術集会時に開催する進捗報告会での発表および英語論文化をご誓約頂きます（誓約書にご署名頂きます）
4. その他 同一テーマでの他の研究助成金との重複申請は認めません。但し、用途を明確に分けている場合の申請は可能です。・研究助成を受けた研究代表者が留学、病気療養、産前・産後休業、育児休業等で研究期間の延期が生じる場合、当学会に申請を行い、内容を審査した上で最長1年間の延期が認められることがあります
5. 応募方法 詳細に関しては、申請書類を含めて検討中